

《担当者名》中田 雅美 mnakata@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

地域福祉の主流化といわれる今日、地域福祉の基本的な考え方を踏まえたうえで、誰が、どのように地域福祉を担うのか。そのために専門職・関係機関はどのように取り組んでいくのか。その具体的な方法及びその実際について学ぶ。

地域福祉の基本的な考え方について学ぶとともに、地域福祉の発展過程、地域福祉の法的な位置づけ、地域福祉の推進主体と福祉行財政について学びを深める。さらに、地域福祉の推進主体と対象については、具体的な事例を通して理解し、関連する組織や専門職による連携や協働、地域福祉の推進方法としての福祉計画の策定や地域福祉活動等について、ソーシャルワーカーの視点から考える。

【学修目標】

1. 地域福祉の基本的な考え方について理解する
2. 地域福祉の歴史的展開と現在求められている動向について理解する
3. 地域福祉を推進するための行財政などの実施体制と専門職の役割について理解する
4. 包括的支援体制の考え方と多職種・多機関協働の意義と実際を理解する
5. 地域福祉実践例を通して、地域アセスメントやネットワーク等の意義と方法を理解し、地域で展開されるソーシャルワークについて考察することができる

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	講義の目的・ねらい、授業の進め方等を理解する。地域福祉を考える動機付けを行う。	中田
2	地域福祉が求められる背景	地域福祉が求められる背景を地域社会の変化と昨今の動向から探る。	中田
3	地域福祉の歴史 1	欧米における取り組みから地域福祉の源流を学ぶ。	中田
4	地域福祉の歴史 2	日本の地域福祉の変遷と位置づけを理解する。	中田
5	地域福祉の基本的な考え方 1	地域福祉で重視されてきた理論や基本的な考え方を理解する。	中田
6	地域福祉の基本的な考え方 2	地域福祉における「地域」を捉える理論や考え方を理解する。	中田
7	地域福祉の主体と対象 1	地域福祉における主体と対象をとらえる。	中田
8	地域福祉の主体と対象 2	地域福祉における主体形成について考える。	中田
9	地域福祉の主体と対象 3	非常時・災害時における地域福祉を考える。	中田
10	地域福祉の推進主体 1	地域福祉の推進主体の一つである民生・児童委員や町内会について理解する。	中田
11	地域福祉の推進主体 2	地域福祉の推進主体の一つである社会福祉法人・NPO法人等について理解する。	中田
12	地域福祉の推進主体 3	地域福祉の推進主体の一つである社会福祉協議会について理解する。	中田
13	地域福祉を支える 1	地域福祉を推進するための福祉行財政システムと役割を理解する。	中田
14	地域福祉を支える 2	共同募金、町内会・社会福祉協議会等の財政を通して地域福祉の財源を理解する。	中田
15	地域福祉を推進する人	地域福祉を推進する人（特別講師）から地域福祉実践を学ぶ。	中田 当別町地域包括支援センター（特別講師）
16	地域共生社会の実現を目指して 1	地域社会における多様化・複雑化した地域生活課題を理解する。	中田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
17	地域共生社会の実現を目指して2	地域包括ケアシステムの深化と「地域共生社会」とは何かを考える。	中田
18	地域共生社会の実現を目指して3	包括的支援体制の考え方と地域福祉援助を理解する。	中田
19	地域を基盤としたソーシャルワーク1	地域で暮らす住民の生活課題について事例検討を通して理解する。	中田
20	地域を基盤としたソーシャルワーク2	住民が暮らす地域を生活者の視点から社会資源を理解する。	中田
21	地域を基盤としたソーシャルワーク3	地域における多職種連携や多機関協働、ネットワーキングの意義を理解する。	中田
22	地域を基盤としたソーシャルワーク4	多職種連携や多機関協働の方法や促進する仕組みについて学ぶ。	中田
23	地域を基盤としたソーシャルワーク5	地域で暮らす住民の個別アセスメントと地域アセスメントを行う。	中田
24	地域福祉の基盤づくり1	地域福祉における地域住民の「参加」について考える。	中田
25	地域福祉の基盤づくり2	地域福祉計画をはじめとする福祉計画の意義を実際の策定過程を通して理解する。	中田
26	地域福祉の基盤づくり3	地域福祉のガバナンスや地域マネジメントについて理解する。	中田
27	コミュニティソーシャルワーカー1	社会福祉協議会の実践とコミュニティソーシャルワーカーについて理解する。	中田
28	コミュニティソーシャルワーカー2	組織・機関を超えて地域で活躍するコミュニティソーシャルワーカーを知る。	中田
29	コミュニティソーシャルワーカー3	常時・非常時におけるソーシャルワーカーの役割について考える。	中田
30	これからの地域福祉を考える	地域福祉と包括的支援体制の課題と展望について考察する。	中田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

- ・授業への参加状況（30%）、中間総括（20%）、定期試験（50%）により総合的に評価する。
- ・授業への参加状況は、毎回の講義終了後に提出するリアクションペーパーで確認する。

【教科書】

特定のテキストは使用しない。毎回講義資料を配布する。

【参考書】

社会福祉士養成講座編集委員会（編）『新・社会福祉士養成講座 9 地域福祉の理論と方法 - 地域福祉論』中央法規
 岩間伸之・原田正樹（2012）『地域福祉援助をつかむ』有斐閣
 勝部麗子（2016）『ひとりぼっちをつくらない「コミュニティソーシャルワーカーの仕事」』全国社会福祉協議会

【備考】

この科目は、社会福祉士・精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「地域福祉の理論と方法」に該当する。教職課程（公民）では、教科に関する科目の「社会学、経済学（国際経済を含む）」に該当する。

【学修の準備】

- ・特定の教科書を使用しないため、毎回の講義で配布する資料を保管し、学習の材料とすること。
- ・授業で配布する資料が定期試験の出題範囲となるため、資料をしっかりと見直すこと。また、随時参考となる文献等を紹介するため、時間外に読むなど文献と合わせて受講することで、さらに理解が深められる。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP4,2

【実務経験】

ソーシャルワーカー(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

主に間接援助(コミュニティワーク)について実践をおこなってきたため、科目全体に実務経験で得られた知見をふまえて講義を行う。